

国際青年環境 NGO・A SEED JAPAN から投資信託業界への提言

SRI ファンドは本当にエコなのか？

2006年12月

はじめに

環境や社会に配慮した企業や、環境ビジネスに積極的に取り組む企業を主な投資先として組入れている投資信託「社会的責任投資（SRI）ファンド」が急増している。しかし、その組入れ先を見てみると、本当に環境や社会に配慮しているのか首を傾げたくなるような企業も少なくない。そこで、国際青年環境 NGO、A SEED JAPAN のエコ貯金プロジェクトでは、現在、日本で販売されている SRI ファンドのうち、国内株式を主な投資先としている 16 のファンドを対象に、これらの SRI ファンドが、環境面、社会面、経済面でのネガティブな要素を持つ企業をどれだけ除外して運用しているかを調査し、SRI ファンドの課題を明確化した。

調査方法・対象

調査方法：以下の各ファンドの直近の目論見書、運用報告書、レポートを元に組入れ銘柄を調査した。

運用会社	ファンド名	スクリーニング項目
日興アセットマネジメント	日興エコファンド	環境
損保ジャパンアセットマネジメント	損保ジャパン・グリーンオープン「ぶなの森」	環境
興銀第一ライフアセットマネジメント	興銀第一ライフ・エコファンド	環境
UBS グローバルアセットマネジメント	UBS 日本株式会社エコファンド「エコ博士」	環境
三菱 UFJ 投信	三菱 UFJ・エコパートナーズ「みどりの翼」	環境
朝日ライフアセットマネジメント	朝日ライフ SRI 社会貢献ファンド「あすのはね」	環境、雇用、消費者対応等
三井住友アセットマネジメント	三井住友・エコバランス「海と空」	環境（温暖化）
住信アセットマネジメント	住信 SRI ジャパンオープン「グッドカンパニー」	環境、社会、経済
大和証券投資信託委託	ダイワ SRI ファンド	倫理、法令順守
野村アセットマネジメント	野村モーニングスターSRI インデックスオープン	環境、社会、経済
三菱 UFJ 投信	三菱 UFJ・SRI ファンド「ファミリーフレンドリー」	雇用
AIG 投信投資顧問	AIG-SAIKYO・日本株式 CSR ファンド「すいれん」	環境、社会、企業統治
AIG 投信投資顧問	AIG りそな・日本株式 CSR ファンド「誠実の杜」	環境、社会、企業統治
損保ジャパンアセットマネジメント	損保ジャパン・SRI オープン	環境、社会、経済
AIG 投信投資顧問	AIG ひろぎん・日本株式 CSR ファンド「クラス G」	環境、社会、企業統治
大和証券投資信託委託	ダイワ・エコファンド	環境、経済

SRI ファンドの環境面・社会面・経済面のネガティブ要素除外度

環境面

問題	問題の具体例・解説	SRI ファンドの組入れ状況
採掘産業	ロシア環境法違反が指摘されているサハリンⅡ石油ガス開発事業には、三井物産、三菱商事が出資。同地域のサハリンⅠでは伊藤忠商事、丸紅等が出資。また、グルジア環境法を改悪して建設した BTC パイプラインには、伊藤忠商事が出資。アスベスト等による環境悪化が懸念されているニューカレドニアのニッケル鉱山開発では、三井物産、住友金属鉱山が出資している。	左記にあげた商社を除外しているファンドはない。特に三菱商事は 16 ファンド中、14 ファンドが組入れている。住友商事は 9、伊藤忠は 6、豊田通商は 5、三井物産は 4 ファンドが組入れている。住友金属鉱山を組入れているのは 1 ファンドのみ。
原生林伐採	タスマニアの原生林伐採では深刻な環境影響が環境 NGO から指摘されている。北越製紙、三菱製紙、大王製紙は植林地からの木材チップのみを使用しているが、王子製紙、日本製紙は未だに天然林を一部使用している。	日本製紙を組入れているファンドは 4 ファンド。王子製紙を組入れているファンドは 3。逆に王子製紙、日本製紙が含まれていないファンドは 9 ファンドある。
原子力発電	原発トラブル、事故隠し、データ改ざんは、ほぼ業界全体で頻発している。日本の 9 電力会社のうち、原子力発電施設を持っていないのは沖縄電力のみ。また主要メーカーとしては、三菱重工、三菱電機、日立、東芝などがある。ちなみに 1999 年に東海村で事故を起こした JCO は住友系の核燃料加工会社。	電力会社を組入れていないファンドは 7 つ。最も組入れ数の多かった電力会社は九州電力で 5 ファンド。2 位は東京電力で 4 ファンドが組入れている。
ダム・発電所	立ち退きの補償や生活再建が未解決のフィリピンのサンロケダムでは、丸紅・関西電力が出資。水質汚染等を懸念し住民の反対運動が繰り返されているタイのゲンコイ火力発電所建設には三井物産が出資している。立ち退き・生活再建の不備から日本の裁判所に提訴されているコトパンジャンダム事業では東京電力の子会社が設計を担当した。	丸紅を組入れているのは 2 ファンドのみ。関西電力を組入れているのは、1 ファンドのみ。
自然環境	環境アセスメントの不備が指摘されている石垣島での大規模リゾート開発は、大和ハウス工業が推進している。	9 ファンドが大和ハウスを組入れており、これは建築業界としては最多である。

社会面

問題	問題の具体例・解説	SRI ファンドの組入れ状況
兵器産業	世界の兵器生産企業売上高ランキングによると、三菱重工 15 位、川崎重工 39 位、三菱電機 52 位、石川島播磨 57 位、東芝 76 位、日本電気 80 位、コマツ 95 位となっている。	13 ファンドがコマツを組入れている。三菱電機を組入れているファンドは 8 つ。左記の企業をまったく組入れていないファンドは 2 ファンドのみ。
労働問題	トヨタ自動車の現地法人フィリピン・トヨタでは、会社側が労働組合結成を否認し団体交渉を拒否。組合員を大量解雇した。最高裁判決で組合が勝訴しILO も勧告を出されているが、会社側は未だに団体交渉に応じていないと指摘されている。	14 ファンドがトヨタ自動車を組入れている。トヨタ自動車を組入れていないのは 2 ファンドのみ。

経済面

問題	問題の具体例・解説	SRI ファンドの組入れ状況
談合事件	ゼネコン業界は、業界ぐるみで談合が繰り返されている。最近の談合事件としては、新潟市の鹿島、鉄建、東亜建設工業、大成建設。大阪府阪南市発注の汚泥・し尿処理施設の談合でハザマと東急建設が関与、和歌山県知事が辞職。福島県発注の木戸ダムの談合事件では前田建設工業が、同県発注の県北流域下水道工事をめぐる談合事件で東急建設が関与。	鹿島を組入れているファンドは 8 つで、これはゼネコン最多である。大林組は 4 ファンド、前田建設と大成建設は 3 ファンドが組入れている。
消費者金融	大手銀行は利息制限法を無視している消費者金融と業務提携し、多額の融資を行っている。三井住友グループはプロミス、アットローンに出資、三菱 UFJ グループはアコムに出資。三井住友銀行の支店内にはプロミスの契約機がある。	消費者金融業者を組入れているのは 1 ファンドのみで、プロミスを組入れている。三井住友とみずほが 13 ファンド、三菱 UFJ は 9 ファンドが組入れている。3 つの銀行をどれも組入れていないファンドは 2 つのみ。
リコール隠し・偽装	2000 年、雪印乳業が集団食中毒・牛肉偽装を起こして解散。最近では三菱自動車、三菱ふそう、トヨタ自動車、パロマのリコール隠しなどが発覚。	三菱自動車、パロマは調査対象の中にはない。トヨタ自動車は上記「労働問題」を参照。
保険金不払い	最近では、大手損害保険 6 社で、25 万件以上の不払いが発覚している。	損保会社を組み込んでいないファンドは 5 つ。組入れ数最多はミレアグループと損保ジャパンで 7 ファンド。2 位は三井住友海上で 6 ファンド。

上記の各問題・事例はあくまで一例であり、包括的な問題・事例抽出を行っているわけではない。

提言

このように、多くの SRI ファンドが環境面・社会面・経済面でのネガティブな側面を持つ企業を除外対象としていない。SRI ファンドが市民から信頼され、経済的リターンと社会的リターンを求める個人投資家のニーズに応えるためには、SRI ファンドに組入れを行う際に、環境や社会面でのポジティブな側面だけを評価するのではなく、ネガティブな側面を除外していくことが必要だ。

しかし、現状では、ネガティブな要素を持つ企業を除外していることを打ち出している SRI ファンドはない。ただ、原生林伐採、原子力発電、兵器製造など特定の問題に限れば、ネガティブな要素を持つ企業を除外した運用（ネガティブスクリーニング）は現実に行われている。一方、多くの SRI ファンドで組入れられている企業（三菱商事、大和ハウス、コマツ、トヨタ自動車など）にもネガティブな要素は多い。

したがって、A SEED JAPAN は、SRI ファンドを開発・運用する業界各社に対し、以下の点を提言する。

1. **各SRIファンドは、どのような企業を組入れ、どのような企業を組入れないかという現状のスクリーニング基準を明確にするべきである。**
2. **さらに、各SRIファンドは、独自のネガティブスクリーニング基準を策定し、ネガティブな要素を持つ企業を運用対象から除外するべきである。**

この件に関するお問い合わせ先：

A SEED JAPAN（担当：鈴木、土谷、田辺）

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-4-23

TEL 03-5366-7484 FAX 03-3341-6030

E-mail: info@aseed.org

URL: <http://www.aseed.org/>（A SEED JAPAN）

<http://www.aseed.org/ecocho>（A SEED JAPANエコ貯金プロジェクト）

この冊子は地球環境基金からの助成を受けて作成しています。